



とうめい news

2026.1.1
Vol. 293

〒248-0034 厚木市船子237
TEL. 046-229-3377
発行者: 河野 昌史
編集責任者: 佐藤 賢治
印刷: (有)タイム21

ホームページアドレス <http://www.tomei.or.jp/clinic/>

あけましておめでとうございます

皆様におかれましては穏やかな新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

近年は地球温暖化による自然災害が日常化し、今まで想定していない事象に対応を迫られることも多くなってきました。サイバー攻撃による通信障害、感染症によるクラスターの増加等の対策も急務ですので、診療継続が出来ない事態を招かぬよう危機管理を一層強化していく所存です。

さて現在、2040年頃の医療提供体制を見据え、「新たな地域医療構想」の検討が厚生労働省において進められています。病院が機能ごとに専門化し、協力し合う体制に加え、医療資源を集中させる時代へと進みつつあります。今後は高齢化の進展や人口減少などの社会ニーズに合わせるため、予防医療・健康増進プログラムの導入、地域特異性に配慮した診療科目や専門分野の強化、オンライン診療の活用と拡充などを進めていく必要があります。地域医療連携の中で自院の役割を明確にすることも重要です。当クリニックは、東名厚木病院の外来部門としての役割と地域の皆様のかかりつけ医としての役割の両面を今後も維持していく方針です。そのためには、地域医療機関とのネットワーク強化、地域特性に合わせた診療方針の確立に加え、入院施設である東名厚木病院との連携も一層強化していきたいと存じます。また、電子カルテの標準化や処方せんデータの共有など、医療のDX（デジタル化）は避けられない課題です。皆様には慣れない方式が導入される可能性があります、丁寧にご説明して参りますので、ご理解ご協力をよろしくお願い申し上げます。

最後に患者さんに安全で、安心した医療を受けて頂くためには、患者さん自身にも医療安全について一緒に考え、ご協力を頂きたいと考えております。当クリニックの医療安全対策指針はホームページにも掲載しておりますので、ぜひご一読ください。

概要としては、

- 呼ばれた時には、声を出してぜひ名前をお伝えいただき、渡された書類、処方箋などはお名前をご確認ください。
- 薬を渡されたら、名前、服用方法、内容をご確認ください。いつもと形状が異なる薬や、量が違う、種類が異なる、医師から言われてない薬が入っているなど、「あれっ？」と思ったら、ご遠慮なく申し出てください。
- 検査・手術・処置などが決まると、必ず説明があります。手術はもちろん、お体に多少なりとも侵襲のある検査・処置では、医師からの説明があり同意書にサインしていただきます。医療従事者からの説明はしっかりお聞きください。説明時などは、メモをとるなどして頂き、わからないときや、少しでも「変だな？」と感じたときは、必ずご質問下さい。

当クリニックの医療安全向上にご協力をお願いいたします。

それでは本年も地域の皆様のニーズに応えられる医療を提供し、信頼される医療機関として職員一同精進してまいりますので、引き続きよろしくお願い申し上げます。

とうめい厚木クリニック

院長 河野 昌史